

社会福祉法人 高田真善会

特別養護老人ホーム 報 徳 園

令和元年度 業務実態報告書

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1 入所人員状況 | 8 在宅介護支援センター事業 |
| 2 処遇・介護の状況 | 9 居宅介護支援事業 |
| 3 面会及び外出・外泊状況 | 10 職員研修の状況 |
| 4 罹病及び通院・入院状況 | 11 地域との交流事業 |
| 5 ヒヤリハット、事故発生報告、苦情状況 | 12 給食関係状況 |
| 6 ショートステイ事業 | 13 法人運営の状況 |
| 7 デイサービス事業 | 附 令和元年度決算状況 |

令和2年4月作成

法人基本理念



報徳園玄関前碑 当法人理事長による揮毫

せ む い
施 無 畏

おそ な ほどこ
「畏れ無きを施す」

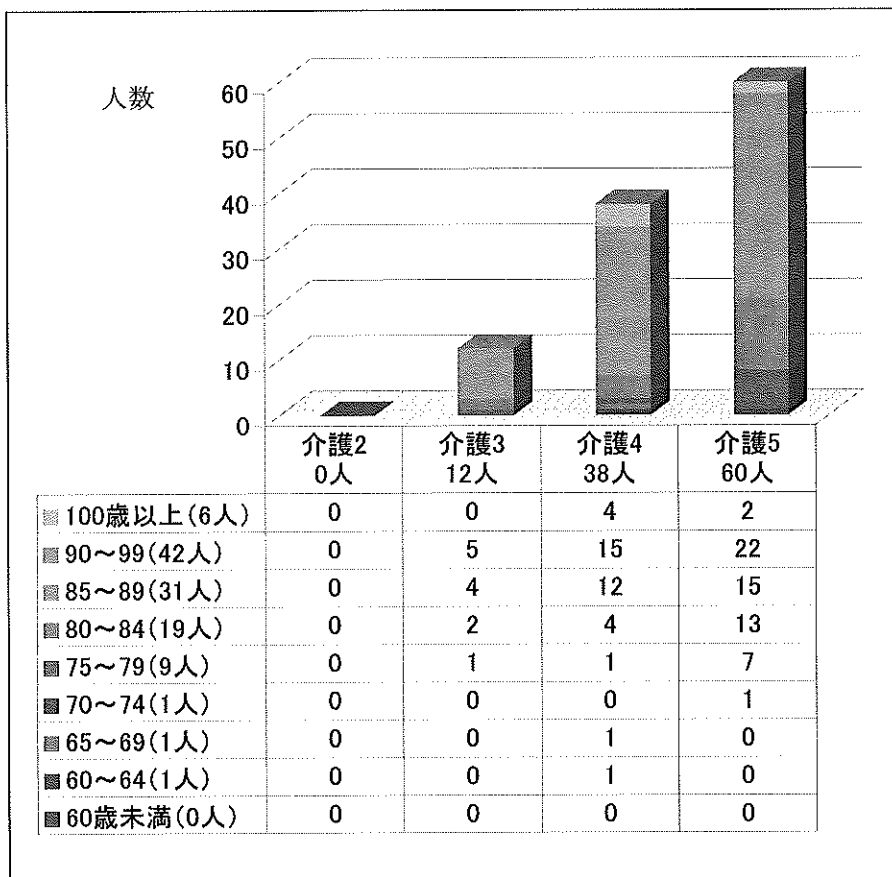
三布施の一。無畏施ともいう。
人々を不安から救い 安らぎの
境地を恵むこと
不安からの開放の意。

高田真善会 報徳園 の 沿革

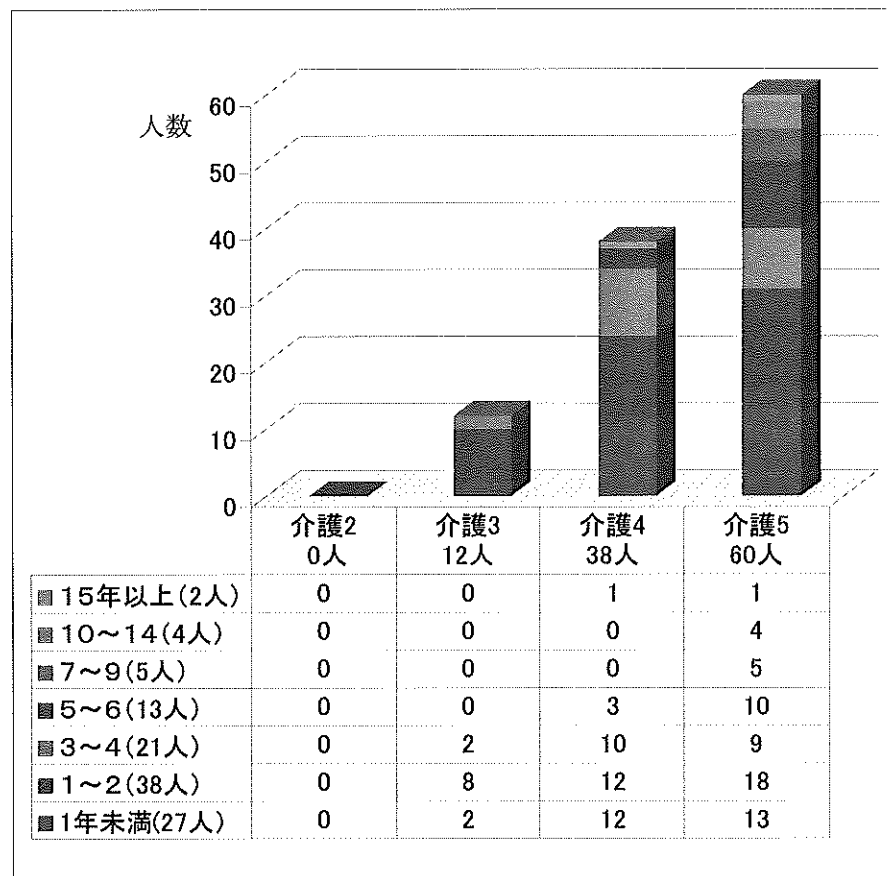
1980 (昭和55) 年10月29日	社会福祉法人高田真善会認可(三重県)
1980 (昭和55) 年11月20日	社会福祉法人高田真善会成立(法人登記)
1981 (昭和56) 年 4 月	国県補助金を得て特別養護老人ホーム報徳園(定員50名)開設
1985 (昭和60) 年 4 月	初代園長急逝により 2 代目園長就任
1988 (昭和63) 年10月	高齢者ケアサービス調査事業(三重県委託)開始 (1991年 3 月まで)
1990 (平成 2) 年 5 月	国県補助金を得て定員80名及びショートステイ20名に増床
1991 (平成 3) 年 4 月	痴呆性老人ケア調査研究事業(三重県委託)開始 (1992年 3 月まで)
1992 (平成 4) 年 4 月	デイサービス(E型)事業開始
1992 (平成 4) 年 4 月	宮内庁より御下賜金拝領
1992 (平成 4) 年 6 月	初代理事長急逝により 2 代目理事長就任
1993 (平成 5) 年 3 月	(財)中央競馬馬主財団の助成金を得てサンルーム兼入浴待合室増築
1993 (平成 5) 年 4 月	国県補助金を得て定員110名に増床
1993 (平成 5) 年 5 月	在宅介護支援センター開設及びホームヘルプ事業開始
1995 (平成 7) 年11月	ナイトケア事業開始 (2000年3月まで)
1997 (平成 9) 年 3 月	(財)中央競馬馬主財団の助成金を得てデイルーム兼食堂(みどりの広場)等、増築拡幅
1997 (平成 9) 年10月	在宅福祉事業の推進功績により、厚生大臣表彰を受く
1999 (平成11) 年 8 月	居宅介護支援事業開始
2000 (平成12) 年 3 月	(財)中央競馬馬主財団の助成金を得て特別静養棟(感染症対応)増築
2004 (平成16) 年度	大規模地震対策として全館ガラス飛散防止・家具等転倒防止及び災害用備蓄庫設置等実施 (約1,500万円)
2005 (平成17) 年度	みえ福祉第三者評価の受審(評価機関:株式会社百五経済研究所) 全館スプリンクラー消火設備を自主設置(平屋建6,000㎡未満の為、設置義務ないが利用者の 重度化に対応した安心安全対策として)(約3,600万円)
2013 (平成25) 年 3 月末	ホームヘルプ事業の廃止 (2012年 9 月より事業休止)
2016 (平成28) 年度	みえ福祉第三者評価2回目の受審(評価機関:株式会社百五総合研究所)
2019 (平成31) 年 4 月	3代目園長就任(交代)

1. 入所人員状況

介護度別年齢構成・・・令和2年3月末現在



在園期間別介護度状況・・・令和2年3月末現在



※最高年齢104歳 性別 女性 最少年齢62歳 性別 男性
 ※最高最少年齢者を除いた平均年齢 88.0歳(男性 87.5歳、女性 88.1歳)
 ※最長在園期間 38年10ヵ月 性別女性 最短在園期間 1ヵ月未満 4名
 ※最長最短在園者を除いた一人当たり平均在園期間 3.28年
 ※入所定員110名に対する年間平均稼働率 97.7%

[介護度構成の年度推移]年度末時点

介護度	27年度		28年度		29年度		30年度		元年度			
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数(男)	人数(女)	人数	%
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	1	0.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	4	3.6	4	3.6	8	7.3	10	9	4	8	12	10.9
4	43	39.1	44	40	38	34.5	33	30	7	31	38	34.5
5	62	56.4	62	56.4	64	58.1	67	60.9	8	52	60	54.5
4+5	105/110	95.4	106/110	96.0	102/110	92	100/110	91	98/110		89	

[新規入所者の介護度構成の推移]

介護度	27年度		28年度		29年度		30年度		元年度			
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数(男)	人数(女)	人数	%
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	1	3.8	4	14.3	6	18.2	1	5	6	19.3
4	12	54.5	17	65.4	12	42.9	13	39.4	2	13	15	48.4
5	10	45.5	8	30.8	12	42.9	14	42.4	2	8	10	32.2
4+5	22/22	100	25/26	96	24/28	85.7	27/33	81.8	25/31		80.6	

[入所申込者数及び介護度]

介護度	元年度												合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
3	7	3	2	3	7	6	3	3	4	3	5	6	52	
4	1	2	8	6	2	1	5	3	3	2	1	3	37	
5	4	4	2	2	2	4	3	0	1	1	2	0	25	
認定申請中	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	3	
合計	12	10	13	12	13	11	11	7	9	7	8	9	122	

申込者総数 304名 (R2.3.31時点)

[退所者内訳]

	性別	年齢	区分	在園期間	理由	死亡場所
1	女	94	長期療養	11ヶ月	脱水	/
2	女	86	長期療養	11ヶ月	右脳梗塞	/
3	女	95	死亡	1年2ヶ月	老衰	報徳園
4	男	85	死亡	9ヶ月	老衰	報徳園
5	女	87	死亡	3年10ヶ月	脳梗塞、肺炎	病院
6	男	90	死亡	6年11ヶ月	老衰	報徳園
7	女	93	長期療養	6年9ヶ月	肺炎	/
8	女	100	死亡	6年11ヶ月	老衰	報徳園
9	女	85	死亡	2年2ヶ月	うっ血性心不全	病院
10	女	90	死亡	5年7ヶ月	誤嚥性肺炎	病院
11	女	96	死亡	8年3ヶ月	老衰	報徳園
12	女	89	長期療養	4年9ヶ月	尿路感染症	/
13	女	92	死亡	5ヶ月	消化管穿孔腹膜炎	病院
14	女	89	死亡	2年7ヶ月	老衰	報徳園
15	男	90	死亡	3ヶ月	老衰	報徳園
16	女	98	死亡	2年2ヶ月	胆管癌	病院
17	女	85	死亡	11年2ヶ月	老衰	報徳園
18	男	57	長期療養	9ヶ月	重度肺炎	/
19	女	75	死亡	6年9ヶ月	老衰	報徳園
20	女	100	死亡	6ヶ月	老衰	報徳園
21	男	83	死亡	1年11ヶ月	呼吸不全	病院

	性別	年齢	区分	在園期間	理由	死亡場所
22	女	85	死亡	1ヶ月	致死性不整脈	病院
23	女	73	長期療養	1年2ヶ月	誤嚥性肺炎	/
24	女	96	死亡	7年	老衰	報徳園
25	男	88	死亡	1ヶ月	小腸壊死	病院
26	女	94	死亡	4年5ヶ月	外傷性ショック 入院6日後死亡	病院
27	女	87	死亡	3年4ヶ月	老衰	報徳園
28	女	98	死亡	1年11ヶ月	老衰	報徳園
29	男	89	死亡	2年8ヶ月	老衰	病院
30	女	87	長期療養	5年3ヶ月	肺炎	/
31	女	77	死亡	3年10ヶ月	老衰	報徳園
合計					31名	
死亡退所24名(報徳園15名、内ターミナルケア7名、病院9名)、長期療養7名						

[死亡退所者 在園期間]

1年未満	6名	25.0%
1年～2年未満	3名	12.5%
2年～3年未満	4名	16.7%
3年～4年未満	3名	12.5%
4年～5年未満	1名	4.2%
5年～10年未満	6名	25.0%
10年以上	1名	4.2%
計	24名	

2. 処遇、介護の状況

〔日課等〕

食 事	午前8:00～8:50 午前11:30～12:15 午後5:00～5:30
排泄介助等	午前5:00～、午前8:00～、午前11:00～、午後2:00～、午後4:00～、午後6:00～、午後9:00～、午前0:00～、その他随時介助、交換
朝の集い	午前10:00～11:00
入 浴	一般浴・特浴とも週2回、各ゾーンにて実施
回 診	火・金の午後実施(精神科医回診、毎月2回)

法人の基本理念を具現化するための5つの目標 ①生活に密着した個別的介護実践の徹底、②QOL(生活の質)向上のための集団的レクリエーション活動の充実、③宗教的安慰の確立、④豊かな食生活と保健医療の保障と充実、⑤家族や地域等との望ましい関係の維持発展のもとに、4つの処遇ゾーン【軽介護・中介護・重介護・重度認知症介護】がそれぞれのグループの特性に合わせて展開されてきた。

認知症ケア・看取りケア等に対し、常に新たなケアを模索し取り組んでいる。また、吸引等の医療行為の必要性が増し、介護と看護の一体的ケアの強化が求められてきた。

サービスの提供にあたっては「利用者の生命又は身体を保護するため緊急やむ得ない場合を除き、身体拘束その他利用者の行動を制限する行為を行ってはならない」ことを受けて、拘束しない介護、利用者の人権を尊重する介護をおこなってきた。更に利用者・職員共に過ごしやすい安心・安全な生活空間づくりを心がけてきた。

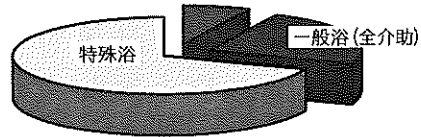
利用者の個人情報に関しては、適正かつ適切な取り扱いに努力するとともに、広く社会からの信頼を得るため自主的なルール及び体制を確立し、個人情報の保護に努めている。

また、介護福祉士養成校の実習をはじめとし、雇用に向けての職場体験から教員資格取得のための福祉体験、中学生・高校生のインターシップ等介護現場の協力の元積極的に受け入れ、後継者の育成にも力を入れてきた。地域の方々には介護教室を開催し、高齢者に対する理解や介護予防の知識の普及に努めてきた。施設が地域の方々にとってなじみの場所となるように施設開放の取り組みを行っている。

その他の状況については、諸表の通りである。

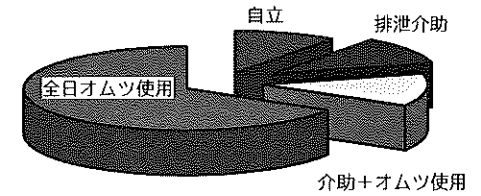
入浴形態	人数	%
一般浴(一部介助)	8	7.3%
一般浴(全介助)	26	23.6%
特殊浴	76	69.1%
合計	110	

- 一般浴(一部介助)
- 一般浴(全介助)
- 特殊浴



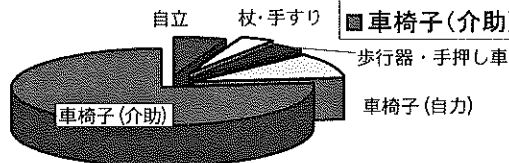
排泄の状況	人数	%
自立	11	10.0%
排泄介助	12	10.9%
介助+オムツ使用	14	12.7%
全日オムツ使用	73	66.4%
合計	110	

- 自立
- 排泄介助
- 介助+オムツ使用
- 全日オムツ使用



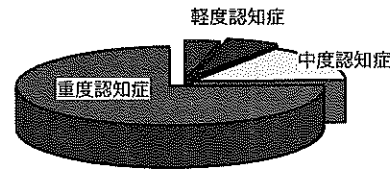
移動介助の状況	人数	%
自立	6	5.5%
杖・手すり	4	3.6%
歩行器・手押し車	4	3.6%
車椅子(自力)	12	10.9%
車椅子(介助)	84	76.4%
合計	110	

- 自立
- 杖・手すり
- 歩行器・手押し車
- 車椅子(自力)
- 車椅子(介助)



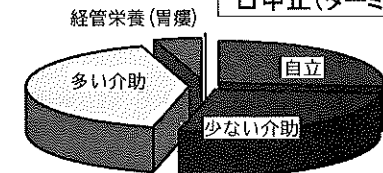
精神状態	人数	%
健常	4	3.6%
軽度認知症	6	5.5%
中度認知症	17	15.5%
重度認知症	83	75.5%
合計	110	

- 健常
- 軽度認知症
- 中度認知症
- 重度認知症



食事介助の状況	人数	%
自立	29	26.4%
少ない介助	30	27.3%
多い介助	46	41.8%
経管栄養(胃瘻)	5	4.6%
中止(ターミナル)	0	0.0%
合計	110	

- 自立
- 少ない介助
- 多い介助
- 経管栄養(胃瘻)
- 中止(ターミナル)



令和2年3月末現在

〔身体拘束等の状況〕（デイ、ショート含む）

令和元年度

	人数	件数	重複	ミトン	つなぎ服	車椅子ベルト	4点柵	取り組み
4月	2名	2件	0名 0件	0件	0件	2件	0件	・A H29.2より継続、骨折の既往があり歩行不安定で転倒の危険が高い ・B 3/20より使用時間を短くして様子を見ている
5月	2名	2件	0名 0件	0	0	2	0	〃
6月	3名	3件	0名 0件	0	0	3	0	・B 色々な車椅子やクッションを試みた結果、座位が安定し、体の傾きがなくなったため終結(H26.4～) ・C 転倒、骨折にて安静のため開始
7月	2名	2件	0名 0件	0	0	2	0	・A 転倒の危険が高く継続 ・C 骨折治癒のため終結(6月～)
8月	1名	1件	0名 0件	0	0	1	0	・A 7/21より日中は外して様子を見ている
9月	3名	3件	0名 0件	0	1	2	0	・A 8/19より外して様子を見ている ・D 骨折にて安静のため開始 ・E チューブを抜く危険があるため開始(つなぎ服)
10月	1名	1件	0名 0件	0	0	1	0	・A 段階的にベルトを外し、動きの多かった朝食前も見守りに対応できるようになったため終結(H29.2～) ・E つなぎ服 終結(9月～、病院で永眠)
11月	1名	1件	0名 0件	0	0	1	0	・D 見守りできる時は外している
12月	0名	0件	0名 0件	0	0	0	0	・D 骨折で退院後3か月間状態観察。座布団やすべり止めマットを何度も交換して臀部からのずり落ちもなくなる。車椅子ベルト終結(9月～)
1月	0名	0件	0名 0件	0	0	0	0	
2月	0名	0件	0名 0件	0	0	0	0	
3月	1名	1件	0名 0件	1	0	0	0	・F 離床時は外している。臥床時に臀部を強く掻き褥瘡となりかねない。患部に塗布した軟膏を触り手をなめるため開始。

〔褥瘡の状況〕

令和元年度

【shea分類】褥瘡の治療、予防ガイドラインで用いられる深達度による分類

	I度 (発赤)	II度 (真皮までにとどまる びらん、 浅い潰瘍)	III度 (皮下脂肪にまで 及ぶ褥瘡)	IV度 (筋肉、 腱、骨に まで及ぶ 褥瘡)	合計
4月	0	10	1	0	11
5月	0	10	2	0	12
6月	0	9	2	0	11
7月	0	9	2	0	11
8月	0	8	2	0	10
9月	0	11	3	0	14
10月	0	11	2	0	13
11月	2	13	2	0	17
12月	0	9	2	0	11
1月	0	5	2	0	7
2月	1	11	2	0	14
3月	1	9	2	0	12

	人数	完治	治癒傾向	変化なし	悪化	その他	症例数
4月	16	6	5	4	2	0	17
5月	15	8	6	6	0	0	20
6月	14	6	4	3	4	0	17
7月	17	12	2	8	1	0	23
8月	14	6	2	6	2	1	17
9月	16	6	8	5	1	0	20
10月	16	8	8	1	4	0	21
11月	17	6	5	9	3	3	26
12月	15	10	7	3	1	1	22
1月	10	4	5	1	1	0	11
2月	13	3	9	3	2	2	19
3月	14	4	4	5	3	1	17

※shea分類表の合計 = 右表の《悪化、変化なし、治癒傾向》の合計

※〈褥瘡〉新たな発症…19名、繰り返し発症…17名(内、永眠8名)、入所前よりの発症…5名

〔研修・実習等の受入〕 デイサービス・給食業務含む

職場体験 ・ インターンシップ					
三重県立みえ夢学園高等学校現場体験学習	1名	3日間	小学校及び中学校の教諭 普通免許状授与に係る介護体験	13名	5日間
三重県立津商業高等学校インターンシップ	2名	3日間			
津市立橋北中学校職場体験学習	5名	3日間			

※R2年2.28 三重県教育委員会より職場体験、インターンシップ等受け入れに協力事業所として特別感謝状を授与

栄養給食実習					
鈴鹿医療科学大学	2名	6日間	鈴鹿短期大学	1名	5日間
三重短期大学	1名	5日間			

介護実習 ・ 生活援助実習					
ユマニテク医療福祉大学校介護福祉学科	3名	15日間	高田短期大学キャリア育成学科 介護福祉コース	2名	20日間
三重介護福祉専門学校	1名	5日間		5名	10日間
〃	1名	20日間		4名	20日間
三重県立みえ夢学園高等学校	2名	8日間	三重中央医療センター付属 三重中央看護学校老年看護学	5名	11日間

その他（校外実習）			合計		年間のべ
三重県立盲学校	5名	3日間			437名
					1名/日

〔主たる行事実施状況〕（デイ、ショート含む）

月	実施行事	ボランティア等	訪問・その他
H31 4	●春祭り ●灌仏会(花祭り) ●法話(隆妙灑師) ●菓子販売 ●避難訓練 ●老人互助会初会合 ●誕生会(誕生者9名)	傾聴ボランティア (1日:2名) 理髪GLANTZ (1日:4名)	●県立盲学校マッサージ 3名 ●ミニギャラリー…写るん会写真展 ○玄関前の庭を開放し、地域の方々にも春の花(桜・チューリップ)、新緑を楽しんでいただく。
R元 5	●菖蒲湯 ●端午の節句(よもぎ餅つき) ●避難訓練 ●菓子販売 ●誕生会(誕生者4名) ●胸部レントゲン撮影 ●法話(山中真諭師) ●降誕会	傾聴ボランティア (1日:3名) 理髪GLANTZ (1日:4名) ギター演奏、歌 (1日:1名) 餅つき (1日:3名)	●ミニギャラリー…林徳一水彩画展
6	●避難訓練 ●祖師寿表彰(8名) ●誕生会(誕生者7名) ●法話(田中明誠師) ●菓子販売	傾聴ボランティア (1日:2名) 理髪GLANTZ (1日:4名) ギター演奏、歌 (2日:2名)	●県立盲学校マッサージ 7名 ●三重看護大学留学生見学 7名 ●いちごうたう会(歌、紙芝居) 12名 ●ミニギャラリー…写るん会写真展
7	●七夕会 ●祇園会 ●誕生会(誕生者16名) ●法話(高藤英光師) ●菓子販売	傾聴ボランティア (1日:3名) 理髪GLANTZ (1日:4名) ギター演奏、歌 (2日:2名)	●オカリナ演奏 9名 ●ミニギャラリー…小川洋一水彩画展
8	●初盆法要(高田本山前法主殿) ●盆踊り大会 ●誕生会(誕生者4名)	傾聴ボランティア (1日:3名) 理髪GLANTZ (1日:3名) ギター演奏、歌 (3日:3名) 盆踊り(高田短大) (1日:8名)	●高田短大バスツアー見学 28名 ●ミニギャラリー…写るん会写真展
9	●避難訓練 ●夜間避難訓練 ●彼岸法要(高田本山前法主殿) ●敬老の祝典 ●誕生会(誕生者16名) ●法話(千草篤昭師) ●十五夜観月会	傾聴ボランティア (1日:2名) 理髪GLANTZ (1日:3名) ギター演奏、歌 (3日:3名)	●いちごうたう会(歌、紙芝居) 11名 ●安東地区消防団 3名 (夜間避難訓練)

月	実施行事	ボランティア等	訪問・その他
10	●誕生会(誕生者10名) ●避難訓練 ●非常時食事提供訓練 ●法話(村上英俊師)	傾聴ボランティア (2日:4名) 理髪GLANTZ (1日:3名) ギター演奏、歌 (1日:1名)	●津西幼稚園よさこい 76名 ●西が丘小二年生地域探検 136名 ●ミニギャラリー…写るん会写真展
11	●法話(田中明誠師)●誕生会(誕生者5名) ●おでかけ(西が丘小おもちゃまつり参加) ●インフルエンザ予防接種	傾聴ボランティア (1日:2名) ギター演奏、歌 (1日:1名)	●津西高校人権学習 12名 ●千久会(歌、踊り) 6名 ●県立盲学校マッサージ 5名 ●民生委員施設見学 25名 ●ミニギャラリー…川辺二郎絵画展
12	●冬至(柚子湯) ●餅つき ●報恩講(高田本山前法主殿) ●誕生会兼忘年会(誕生者10名) ●法話(藤山 眞哉師)	傾聴ボランティア (1日:3名) 理髪GLANTZ (1日:3名) ギター演奏、歌 (1日:1名) 門松作り (2日:2名)	●いちごうたう会(歌、紙芝居) 12名 ●オカモトヤ衣類販売 3名 ●スイートピー(オカリナ演奏) 7名 ●三重岳仁会(詩吟) 7名 ●ミニギャラリー…写るん会写真展
R2 1	●年賀式、修正会 ●書初め ●誕生会(誕生者15名) ●おでかけ(初詣、辰水神社、お七夜参詣) ●法話(真置 信海師)	傾聴ボランティア (1日:3名) ギター演奏、歌 (2日:2名) 介護補助 (10日:10名)	●ミニギャラリー…川辺二郎絵画展 ○利用者よりインフルエンザの発症が見られたため 来園を控えていただく。
2	●節分会 ●誕生会、百歳祝い(誕生者15名) ●法話(高藤英光師)	介護補助 (4日:4名)	●ミニギャラリー…写るん会写真展
3	●彼岸法要(高田本山前法主殿) ●避難訓練 ●法話(若林 妙百師) ●雛祭り ●誕生会(誕生者15名) ●春祭り	○新型コロナウイルス感染症の発症が県内でも見られたため、ボランティア、訪問等を控えていただく。 ●ミニギャラリー…武田英機写真展	
ボランティア・訪問等 合計464名			1.27名/日

3. 面会及び外出・外泊状況

(面会者集計)

月	面会者数						総計	一人あたり 平均
	配偶者	子供	孫	兄弟	親族	その他		
H31 4	141	287	31	12	52	12	535	4.86
R元 5	153	325	32	8	68	20	606	5.50
6	136	329	25	15	51	11	567	5.15
7	123	359	27	12	40	10	571	5.19
8	120	307	59	17	60	9	572	5.20
9	125	310	52	10	50	10	557	5.06
10	96	314	21	5	35	13	484	4.40
11	153	323	30	10	19	18	553	5.02
12	155	310	40	17	52	12	586	5.32
R2 1	115	252	55	16	59	27	524	4.76
2	83	152	8	8	27	16	294	2.67
3	2	13	0	0	2	0	17	0.15
合計	1,402	3,281	380	130	515	158	5,866	4.33

※R2.2.26より厚生労働省の通達により、新型コロナウイルス感染症による面会制限を行う。

面会制限以降の面会者数については、医師との面談等による来訪者数。

(面会回数・年間)

回数	人数	回数	人数
0	10	121~130	1
1~10	28	131~140	0
11~20	14	141~150	0
21~30	8	151~200	0
31~40	6	201~350	3
41~50	5		
51~60	4		
61~70	3		
71~80	4		
81~90	3		
91~100	1		
101~110	0		
111~120	0		

※年度途中入退所者除く

(外出・外泊者数)

月	外出者数	外泊	
		人数	期間
H31 4	4	1	5
R元 5	4	1	5
6	0	1	3
7	0	1	3
8	3	0	0
9	3	1	3
10	1	1	3
11	4	1	4
12	2	1	5
R2 1	2	1	3
2	1	1	4
3	0	0	0
合計	24	10	38

4. 罹病及び通院・入院状況

罹病状況 (重複カウント)			
病名	人数	病名	人数
便秘症	70	胆石	6
高血圧症	61	神経因性膀胱炎	5
脳梗塞後遺症	23	パーキンソン症候群	5
糖尿病	21	水頭症	5
骨粗鬆症	19	緑内障	4
白内障	12	脳出血	4
心不全	12	てんかん	4
乾皮症	10	うつ病	3
高脂血症	10	甲状腺機能低下	3
貧血	10	統合失調症	2
尿路感染症	9	前立腺肥大	2
狭心症	9	リウマチ	2
悪性腫瘍	9	腹部大動脈瘤	1
変形性膝関節症	6		

月	通院・往診(歯科・精神科)・入院者数					のべ 入院日数 (日)	看護職員夜間 緊急呼び出し (回)	
	通院 (回)	往診 (人)	入院 (人)	退院 (人)	救急車搬送 (件)			
H31 4	23	18	21	3	3	2	28	3
R元 5	22	18	23	1	2	2	29	2
6	34	28	21	6	2	1	84	1
7	32	29	24	4	6	0	152	0
8	17	13	23	2	3	1	133	0
9	20	16	24	4	2	1	106	2
10	19	15	23	0	3	0	81	1
11	12	12	21	1	1	1	46	4
12	21	20	20	2	2	3	13	1
R2 1	19	17	19	3	2	1	18	0
2	20	18	22	3	0	4	70	2
3	19	15	23	1	3	0	123	3
合計	258	219	264	30	29	16	883	19

5. ヒヤリハット、事故発生報告状況（デイ・ショート及び業務全般を含む）

〔ヒヤリハット報告〕

項目	件数	項目	件数
自ら動いて 床にいる	ベットから 65	デイ、ショート忘れ物 送迎関連	22
	車椅子から 29	歩行者転倒	36
車椅子、ベットから 落ちそうになる	5	異食	7
薬関連	55	その他	91
		合計	318

〔苦情・要望〕

内容	件数
衣類・物品等の入れ替わり	10
利用者送迎に関すること	3
その他(服薬、請求など)	6
合計	19

※大部分がデイ、ショート関連

〔事故発生報告件数〕 県への報告(骨折等)… 10件 H31.4.1～R2.3.31

	軽度	中度	重度		最重度	計
	処置なし、様子観察	処置(施設内)	医療機関		障害、死亡	
入院			通院			
介助中	薬、レベル1⑨ 薬、レベル2⑮	職員介助中⑦ 誤嚥③ 薬、レベル3③ 薬、レベル4④	誤嚥①	誤嚥①	転落 頭蓋骨骨折 ① 6日後死亡	44
介助中でない	厨房⑦⑨ デイ・ショート忘れ物⑬ 送迎⑥ 異食④ 破損・紛失④ その他⑫	表皮剥離⑳ 転倒㉑ 自ら動いて床にいる⑧ 内出血⑦ 転落④	骨折③	骨折⑤ 送迎(交通事故)③ 内出血① 表皮剥離① 転倒①	誤嚥①	210
その他	0	実績・請求ミス⑨	0	0	0	9
合計	142	103	4	12	2	263

※薬レベルについて

レベル1 落下(口に入った形跡あり)

レベル2 服用忘れ、落下(口に入った形跡なし)

レベル3 重複、朝・昼・夕の間違い

レベル4 人違いの誤薬

6. ショートステイ利用状況

〔月別・介護度別利用状況（人数）〕

	介護度					のべ人数	特養空床 利用者	15床に対する 稼働率	緊急受入件数 (加算対象)	送迎件数
	1	2	3	4	5					
H31 4	0	8	8	15	8	468	28	104.0%	3	139
R元 5	1	6	9	15	6	433	24	93.1%	1	127
6	2	8	7	13	10	493	55	109.6%	3	131
7	2	6	11	12	12	501	43	107.7%	2	134
8	3	5	8	12	10	514	61	110.5%	1	144
9	2	6	9	12	12	476	45	105.8%	0	141
10	3	6	8	10	10	519	71	111.6%	0	139
11	1	7	8	7	9	388	4	86.2%	0	110
12	1	9	7	7	8	430	11	92.5%	1	107
R2 1	3	8	7	8	6	415	6	89.2%	0	101
2	3	5	5	14	7	445	20	102.3%	1	98
3	1	7	4	9	7	426	5	91.6%	0	95
計	22	81	91	134	105	5508	373	100.3%	12	1,466

7. デイサービス事業状況

認知症対応型

〔月別・介護度別利用状況（人数）〕

	介護度					定員	
	1	2	3	4	5	月～金曜日	土日曜日
						のべ人数	稼働率
H31 4	4	5	7	10	4	304	48.7%
R元 5	4	6	9	8	4	303	46.7%
6	4	5	9	8	6	325	53.1%
7	4	4	10	8	6	329	50.7%
8	3	4	9	9	6	346	54.4%
9	2	4	11	9	5	323	52.7%
10	2	4	11	6	6	274	42.2%
11	2	4	11	6	6	279	45.5%
12	2	4	10	5	5	246	40.1%
R2 1	2	5	11	5	5	229	37.4%
2	2	4	9	5	3	200	34.0%
3	2	4	6	4	5	213	34.1%
計	33	53	113	83	61	3,371	49.3%

※デイサービス運営推進会議開催日

9月9日

2月21日

※デイだより発行（毎月）

8. 在宅介護支援センター事業状況

〔相談業務件数集計〕

	来園相談	訪問相談	電話相談	その他	合計
H31 4	17	110	87	0	214
R元 5	29	134	62	3	228
6	43	156	55	4	258
7	27	151	102	1	281
8	19	143	76	0	238
9	19	107	47	3	176
10	16	106	27	0	149
11	12	107	45	0	164
12	16	139	73	0	228
R2 1	15	111	22	0	148
2	23	147	55	0	225
3	18	144	64	3	229
合計	254	1555	715	14	2538

	相談内容					
	総合	介護	在宅	機器	施設	その他
H31 4	118	40	19	14	23	0
R元 5	143	35	11	15	15	9
6	141	55	29	7	17	9
7	168	44	23	14	29	3
8	140	48	13	14	18	5
9	123	23	13	6	8	3
10	103	17	8	10	11	0
11	131	8	9	5	10	1
12	135	41	20	12	16	4
R2 1	122	9	2	3	6	6
2	142	33	14	18	14	4
3	141	45	9	11	20	3
合計	1607	398	170	129	187	47

〔地域支援事業〕

〔地域ケア会議出席〕

	実態把握
H31 4	2
R元 5	2
6	3
7	2
8	1
9	0
10	0
11	0
12	0
R2 1	0
2	2
3	0
合計	12件

	地域ケア会議参加
H31 4	1
R元 5	1
6	0
7	1
8	0
9	1
10	1
11	1
12	0
R2 1	1
2	1
3	0
合計	8件

〔介護予防教室〕

9月25日 地域交流会 認知症予防教室開催 13名参加
 10月9日 地域交流会 認知症予防教室開催 21名参加

9. 居宅介護支援事業

ケアプラン作成〔月別・介護度別利用状況〕

	介護度					合計
	1	2	3	4	5	
H31 4	22	26	16	15	6	85
R元 5	22	31	15	15	8	91
6	23	31	15	14	12	95
7	26	31	15	15	11	98
8	22	27	14	14	11	88
9	20	29	17	12	13	91
10	20	30	16	14	12	92
11	20	33	16	12	11	92
12	25	31	16	13	7	92
R2 1	26	29	16	16	6	93
2	26	26	17	17	7	93
3	24	27	16	17	7	91
計	276	351	189	174	111	1101

介護予防プラン作成

	介護度		内訳		合計
	要支援1	要支援2	介護予防支援	介護予防ケアマネジメントA	
H31 4	6	17	11	12	23
R元 5	6	17	11	12	23
6	7	13	9	11	20
7	8	12	9	11	20
8	8	12	8	12	20
9	8	13	8	13	21
10	7	14	7	14	21
11	8	14	10	12	22
12	8	13	10	11	21
R2 1	8	14	11	11	22
2	8	14	10	12	22
3	8	13	10	11	21
計	90	166	114	142	256

10. 職員研修等の状況

[園内研修]

月	テーマ・講師・担当	対象職員	内容
H31 4	災害時福祉支援～福祉避難所での対応 研修報告…介護副主任	全職種対象	災害備品の定期点検を行い使える資源をできるようにしておく。熊本地震体験事例報告より水の大切さ、ラップの活用、ラジオ等で情報収集。福祉避難所に対する誤解。
	介護現場におけるハラスメント 研修報告…介護士	〃	ハラスメントとは様々な場面での「いやがらせ」「いじめ」を指す。利用者から受けた場合利用者の心理面、原因を解明する。一人で悩まず相談し、チームで共有する。
	報徳園新任研修（施設理念） 施設長	新任職員6名	施無畏に含まれている福祉理念、法人理念。
	〃（就業規則等） 業務部長	〃	就業規則等施設内の業務、規則。
〃（職員マナー） 相談員	〃	社会常識、施設職員としての振る舞い。	
R元 5	報徳園新任研修（感染症） 看護課長	新任職員6名	感染症の理解・予防・対策・発生時の対応。体調管理。汚物処理の実習。
	〃（身体拘束・事故防止） 相談員主任	〃	身体拘束に該当する事例、利用者の思い。何が事故につながるのか危機管理意識。
	〃（看取り介護・介護技術） 介護主任	新任職員介護課2名	看取り状態とは？報徳園での看取り介護。利用者の状態に合わせた介護技術指導。
	〃（ケアプラン） 介護課長	〃	アセスメント方式の説明、プランの着目点、必要性。
	〃（介護保険制度） 在宅介護支援センター長	新任職員6名	介護保険制度の仕組み、業務とのつながり。
	〃（認知症介護） デイサービスセンター主任	〃	認知症の原因となる疾患、症状、服薬。関わり方のポイント、寄り添い方。
災害時における福祉支援について考える 研修報告…介護士リーダー	全職種対象	施設内の危険箇所を複数の職員で点検し対策を講じる。ライフラインが停止した場合の対応策も職員全員で考えておく必要がある。他人事ではない。	
6	身体拘束廃止への取り組み～身体拘束のない介護を目指して 介護士リーダー	〃	「ちょっと待って」という言葉も拘束である。75%は介護者が気づかずにやってしまっていることもあり、チームケアが大切である。
	「介護士研究会」今年度の課題、取り組み 介護士リーダー	〃	「介護職員の定着」について他施設の取り組みを参考に検討する。
7	認知症の方とのコミュニケーション/ハリデーション 研修報告…介護士	〃	バリデーション…認知症の高齢者とコミュニケーションをとる技法のひとつ。失われないもの(感情レベル)に焦点を当て、傾聴し、共感していく。
	食中毒 サラヤ株式会社 永井伸之輔 氏	〃	付けない・増やさない・やっつける 三原則を一人が怠ると病原体の伝播を起こす。
	知っているようで知らない感染症の予防と対策 研修報告…介護士	〃	食中毒・ノロウイルス・インフルエンザの原因、特徴、感染経路となるものを特定。施設でも集団感染が起こりやすいインフルエンザは手でよく触れる場所の環境消毒が効果的である。
	「相談員研究会」取り組み 相談員主任	〃	33施設が参加。6～7名でグループワークを行い、テーマに沿って情報交換を行う。
8	老いと演劇～認知症の人と「いまここ」を楽しむ 研修報告…介護士	〃	認知症の人の世界を否定して現実に戻そうとするより見ている世界を肯定し、受け入れ、今この瞬間を共に楽しむことが大切である。
	認知症のかかわり方 研修報告…介護士	〃	抗不安薬、向精神薬などの薬物療法が主流であったが、副作用などの問題もあり近年は音楽療法・芸術療法といった流れに変わってきている。安心して過ごせる環境が重要。
	認知症ケアの実践 研修報告…介護士	〃	帰宅願望と被害妄想の利用者に対する事例報告。利用者の思いや行動、時間帯を24シートに記入し、不穏時に発する内容や時間帯などの情報が得られた。
	施設に存在する様々なハラスメント 研修報告…調理員	〃	職場環境や利用者にも影響を及ぼす。組織として取り組み防止する。
	コミュニケーション～指導の仕方 研修報告…調理主任	〃	細かな事実やわずかな成長に気づく。よいところを探し誉め言葉を口に出して伝える
	給食部門研修会～非常食の調理 研修報告…管理栄養士	〃	ポリ袋を使用して、湯せんで生米からご飯を炊いた。災害時にはご飯よりも水分のあるおかゆが食べやすい

月	テーマ・講師・担当	対象職員	内容
9	看取りケアの実践 研修報告…介護士	全職種対象	できる限り本人の意思を尊重した看取り介護を実践していく。穏やかに過ごせるように配慮。
	ポジショニングについて 報徳園 看護師	介護士	ずれと圧迫が褥瘡の発生や増悪の要因。背上げ、背下げによるずれの体験。
	栄養士研究会 研修報告…管理栄養士	全職種対象	腸は第二の脳と言われ、菌が入り下痢を起こすのは脳を介さず腸が指令を出す。
10	虐待防止～虐待の芽について 高田短期大学 松枝桂子 氏	看護師・介護士	発想の転換を持つ。職員側の都合を優先した時に虐待が起こる環境ができていく。自分のケアを見直す機会を作る。
	介護現場におけるリスクマネジメント 研修報告…介護リーダー	全職種対象	事故は必ず起こってしまう。トラブルを未然に防ぐためリスクマネジメントが必要。
11	感染症対策～送迎 相談員主任	介助員	マニュアルに沿って説明。手洗いによる予防効果、自身が罹患した場合。嘔吐処理方法。
	感染症対策～介護現場 4回開催 各丁目職員・看護師	全職種対象	各丁目にて嘔吐者を想定して処理方法を実演。注意点を医療とともに再チェックする。
	アンガーマネジメント 研修報告…介護士	全職種対象	怒ることは悪いことではなく、上手に怒ることで得られるものもある。自分自身をよく知り自分の感情に責任を持てばハワハラのようなものはなくなりいい人間関係が築ける。
R2.1	いきいきシアライフのための食育講座 研修報告…介護士	〃	認知機能と運動機能は深く結びついている認知症防止のために作る・味わう・栄養バランスを考える。
	福祉用具フォーラムから腰を守る福祉用具 研修報告…介護士	〃	スライディングシートは移動時の摩擦を減らすことで褥瘡の予防にもつながる。介護者の負担を減らすためには福祉用具を活用し、腰を曲げない・ねじらない動作を心がける。
	高齢者施設等感染対策研修 研修報告…看護師	〃	介護者の感染対策として液体石鹸での手洗い。手荒れの予防、手荒れは細菌の温床となる
	高齢者の水分補給について 研修報告…管理栄養士主	〃	高齢者は喉の渇きに気づかない。薬の副作用で脱水になることもある手の届くところに水分
	アドバンス ケア プランニング 研修報告…介護副主任	〃	人生の最終段階において自分の希望を明らかにすること自分が元気うちに人生会議を行う
2	給食施設管理者研修 研修報告…管理栄養士主任	〃	高齢者の健康とフレイル(虚弱)予防。高齢者はフレイル対策、若い人は高血圧対策を。
	権利擁護推進委員養成研修 研修報告…介護士	〃	高齢者虐待法の理解。職員のストレス解消法・予防、職員の相談、介護方法の相談できる体制作り。
	食事ケア・摂嚥嚥下支援研修 研修報告…介護副主任	〃	嚥下しやすい姿勢。誤嚥は食べ物を呑み込んだ時気道が閉じていないときにおこる。
3	誤嚥性肺炎ゼロ 研修報告…介護士	〃	喀出力・免疫力・体力が弱いと口腔内の細菌が肺に入り誤嚥性肺炎が起こりやすい。
	身体拘束廃止セミナー 研修報告…介護リーダー	〃	拘束を誘発する原因の除去・5つの基本的ケア(起きる、食べる、排泄、清潔、活動)の徹底。拘束廃止をきっかけにより良いケアをすること。
	接遇～輝く日々への実践 研修報告…介護士	〃	「顔は心の履歴書」感情は表情として出て、人格は顔つきに出る。顔つきは変えられる。人に会ったとき記憶に残るのは「笑顔」。作り笑顔は見抜かれる。本当の笑顔は美しい。

※全職員対象に毎月マナー研修をおこなう。

【外部研修参加状況】

県内研修	50件	80名参加
県外研修	2件	7名参加

内、キャリアパス研修(初任者・チームリーダー・管理職) 計20名受講 喀痰吸引等研修…3名受講 三重県認知症介護研修(実践者・リーダー) 計5名受講

11. 地域との交流事業

月日	所属機関	目的・内容	人数	担当
H31.4/3	春祭り	桜の開花に合わせ園庭を開放。看板にて近隣の方々に見学を呼び掛ける。春祭りは利用者ご家族との写真撮影や交流を図る。	約200人	レク委員会・全職員
R元.5/5	よもぎ餅つき	園庭にて新緑の中よもぎ餅をつく。茶摘み体験や新茶を味わう。利用者ご家族にもポスターにて参加を呼び掛け、交流を図る。	約150名	三丁目介護士 全職員
6/12	三重県立看護大学	海外短期研修生が利用者とのふれあい日本の高齢者施設を学ぶ(タイ・イギリス)	7名	介護士・相談員
7/14	祇園会(夕方～)	近隣の方々や利用者ご家族にポスターにて参加を呼びかけ、打ち上げ花火を楽しむ。	約200名	一丁目介護士 全職員
7/15 7/21.28	河辺地区盆踊り練習(夜間)	地域の方々と職員と盆踊りにて交流を図る。	のべ 約100名	レク委員・全職員
8/4	第39回河辺地区盆踊り大会(夕方～)	盆踊りやイベントを地域の方々と利用者・利用者ご家族・職員と交流し、打ち上げ花火を楽しむ。	約400名	レク委員・全職員
8/6	高田短期大学 介護福祉研究センター	介護福祉に興味のある学生を対象に介護の現場を見て感じて体験していただくバスツアー。昼食体験付	24名	相談員
8/7 9/24・3/18	初盆・彼岸法要	河辺自治会・老人会・遺族・利用者・職員との交流	のべ 200名	全職員
9/9	津市中消防署西分署 地域消防団	夜間避難訓練…出火場所を想定し、屋外へ避難。職員も自宅から駆けつける。近隣の方々にも文章で連絡し、消防署署員、地域消防団の協力にて訓練。	約200名	防火管理者 全職員
10/10	津市立西が丘小学校2年生	町探検の一環として地域にある高齢者施設を見学し、利用者との交流を図る。	125名	相談員・介護士
9/25 10/9 11/2	地域交流会 介護教室 テーマ「高齢者の心の健康」	近隣地域の方々にお越しいただき、「高齢者の心の健康」について施設長より講義。口腔体操、介護相談を行う。民生委員さんの定例会議、施設見学、昼食体験。	計55名	施設長 相談員・医務室 ケアマネ
10/16	津西幼稚園	園児による「よさこい」披露、利用者とのふれあい。	76名	相談員
11/15	津西高等学校1年生	人権総合学習…高齢者の人権について講義 施設見学、利用者との交流。	12名	施設長・相談員
11/28	津市立西が丘小学校2年生	「おもちゃまつり」の招待を受け小学校へ出向く。体育館にて児童とゲーム等でふれあい、楽しむ。	15名	介護士・相談員 看護学生
12/5	報恩講	善休寺世話方、利用者との交流。	約100名	相談員・事務所

12. 給食関係状況

R2. 3月31日現在

一人あたり平均
一日給食カロリー(Kcal)

月	カロリー
H31 4	1,317
R元 5	1,338
6	1,340
7	1,317
8	1,292
9	1,340
10	1,342
11	1,333
12	1,325
R2 1	1,334
2	1,319
3	1,327
平均	1,331

食品群別一人一日平均(グラム)

食品群	量	食品群	量
穀類	167	乳及び乳製品	84
芋類	36	野菜類	217
砂糖類	19	果実類	51
油脂類	6.6	海藻類	4.8
豆類	39	調味料類	61
魚介類	75	菓子類	7
獣鳥肉類	88	嗜好品類	12
卵類	24	その他	7

* 特別行事食～年間約35回（誕生会、餅つき等）

食事内容(人)

()1/2量

主 食	ご飯	18
	軟飯	10(1)
	全粥	48
	ミキサー	24
	経管栄養(胃瘻)	5
	流動食	2
副 食	ふつう	12
	キザミ	14(1)
	超キザミ	40(1)
	極超キザミ	14
	ミキサー	20(5)
	経管栄養(胃瘻)	5
	流動食	2
水分	トロミ使用	53
	中止	1
	入院	2

13. 法人運営状況

令和元年5月29日(水)

監事会 出席人数 監事2名、常務理事1名、理事1名
内 容 (1) 平成30年度事業状況
(2) 平成30年度決算

令和元年6月7日(金)

理事会 出席人数 理事6名中5名、監事2名中2名
議 案 (1) 平成30年度事業報告並びに計算書類等の承認について
(2) 定時評議員会の開催について

平成元年6月26日(水)

評議員会 出席人数 評議員7名中4名
常務理事1名、理事1名、監事2名
議 案 (1) 平成30年度事業報告について
(2) 平成30年度計算書類等の承認について
(3) 理事・監事の任期満了に伴う選任について
(4) 役員等報酬規程の変更について
理事会 出席人数 理事6名中6名、監事2名中2名
議 案 (1) 理事長・常務理事の選任について

令和元年11月15日(金)

理事会 出席人数 理事6名中6名、監事2名中2名
議 案 (1) 諸規定の変更について
管理規定、給与規程、臨時職員等就業規則、就業規則、運営規定、経理規定
(2) 令和元年度補正予算案について

令和2年3月16日(月)

理事会 出席人数 理事6名中5名、監事2名中2名
議 案 (1) 令和元年度補正予算案について
(2) 令和2年度事業計画案について
(3) 令和2年度予算案について

[令和2年4月1日現在]

法人役員構成

	人数	備考
理事	6名	内 理事長1名、常務理事1名
監事	2名	
評議員	7名	

職員構成

事業所・職種	人数	備考
特養・短期入所・認知症対応型通所介護事業所		
園長	1名	
事務員	5名	
相談員	5名	内、介護支援専門員兼務2名
介護職員	62名	内、介護福祉士取得者44名 内、障害吸引等登録者25名
看護職員	9名	内、機能訓練指導員兼務7名
管理栄養士	2名	
調理員	8名	
嘱託医師	2名	内、精神科1名
その他	1名	送迎運転手
居宅介護支援事業所		
介護支援専門員	3名	
合計	98名	

* 兼務の場合は主たる事業所・職種にて計上

令和元年度職員採用・退職状況

()は定年に関する採用退職数

採用・退職	正規職員	非正規職員	合計
採用職員	7	7(1)	14
退職職員	8(4)	7(3)	15

* 正規職員退職者平均勤続年数 8年10か月

令和元年度有休休暇取得状況

平均取得日数	9.5日
取得率	61.6%

雇用形態・男女別職員分布

雇用形態	男	女	合計
正規職員	20	47	67
(内、介護・看護職員)	(15)	(32)	(47)
非正規・嘱託職員	10	21	31
(内、介護・看護職員)	(6)	(18)	(24)
合計	30	68	98

勤続年数別職員分布

勤続年数	正規職員	非常勤職員	合計
3年未満	13	5	18
3年以上5年未満	7	4	11
5年以上10年未満	10	6	16
10年以上15年未満	11	4	15
15年以上20年未満	12	5	17
20年以上25年未満	5	3	8
25年以上30年未満	4	2	6
30年以上	5	2	7
合計	67	31	98

* 正規職員平均勤続年数 12年3か月

年齢別職員分布

勤続年数	正規職員	非常勤職員	合計
10・20歳代	14	1	15
30歳代	6	6	12
40歳代	18	3	21
50歳代	28	3	31
60歳代以上	1	18	19
合計	67	31	98

* 正規職員平均年齢 44歳5か月

※上記職員分布には、育児休業及び療養休暇中の職員を含む

令和元年度 決算状況

法人単位 資金収支計算書

(自) 平成31年 4月 1日 (至) 令和2年3月31日

(単位：円)

法人名：社会福祉法人高田真善会

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	607,580,000	608,180,416	△ 600,416	
	借入金利息補助金収入	0	0	0	
	経常経費寄附金収入	3,180,000	3,570,360	△ 390,360	
	受取利息配当金収入	20,000	18,672	1,328	
	その他の収入	7,190,000	7,889,287	△ 699,287	
	流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0	
	事業活動収入計(1)	617,970,000	619,658,735	△ 1,688,735	
	支出				
	人件費支出	463,740,000	462,562,974	1,177,026	
事業費支出	103,360,000	100,913,543	2,446,457		
事務費支出	41,310,000	39,571,017	1,738,983		
利用者負担軽減額	30,000	0	30,000		
支払利息支出	0	0	0		
その他の支出	5,550,000	5,586,450	△ 36,450		
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0		
事業活動支出計(2)	613,990,000	608,633,984	5,356,016		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	3,980,000	11,024,751	△ 7,044,751		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	0	0	0	
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	
	設備資金借入金収入	0	0	0	
	固定資産売却収入	0	0	0	
	その他の施設整備等による収入	0	0	0	
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	
	固定資産取得支出	20,740,000	20,337,957	402,043	
固定資産除去・廃棄支出	0	0	0		
ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0		
その他の施設整備等による支出	0	0	0		
施設整備等支出計(5)	20,740,000	20,337,957	402,043		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 20,740,000	△ 20,337,957	△ 402,043		
その他の活動による収支	収入				
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	
	長期運営資金借入金収入	0	0	0	
	長期貸付金回収収入	0	0	0	
	投資有価証券売却収入	0	0	0	
	積立資産取崩収入	40,000	49,635	△ 9,635	
	その他の活動による収入	0	0	0	
	その他の活動収入計(7)	40,000	49,635	△ 9,635	
	支出				
	長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	
長期貸付金支出	0	0	0		
投資有価証券取得支出	0	0	0		
積立資産支出	4,150,000	4,122,767	27,233		
その他の活動による支出	0	0	0		
その他の活動支出計(8)	4,150,000	4,122,767	27,233		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 4,110,000	△ 4,073,132	△ 36,868		
子備費支出(10)	0	—	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 20,870,000	△ 13,386,338	△ 7,483,662		
前期末支払資金残高(12)	325,744,384	325,744,384	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	304,874,384	312,358,046	△ 7,483,662		

法人単位 事業活動計算書

第2号第1様式

(自) 平成31年 4月 1日 (至) 令和2年 3月31日

法人名：社会福祉法人高田真善会

(単位：円)

勘 定 科 目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減(A)-(B)
サービスマ活動増減の部	収益	608,180,416	614,555,747	△ 6,375,331
	経常経費寄附金収益	3,570,360	3,971,390	△ 401,030
	その他の収益	0	0	0
	サービスマ活動収益計 (1)	611,750,776	618,527,137	△ 6,776,361
	費用	465,803,006	459,481,793	6,321,213
	人件費	101,374,319	99,542,833	1,831,486
	事業費	39,571,017	33,580,959	5,990,058
	事務費	0	0	0
	利用者負担軽減額	27,383,810	28,065,880	△ 682,070
	減価償却費	△ 7,030,276	△ 8,308,759	1,278,483
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0	
徴収不能引当金繰入	0	0	0	
その他の費用	0	0	0	
サービスマ活動費用計 (2)	627,101,876	612,362,706	14,739,170	
サービスマ活動増減差額 (3) = (1) - (2)	△ 15,351,100	6,164,431	△ 21,515,531	
サービスマ活動外増減の部	収益	0	0	0
	借入金利息補助金収益	18,672	16,636	2,036
	受取利息配当金収益	7,889,287	17,714,360	△ 9,825,073
	その他のサービスマ活動外収益	0	0	0
	サービスマ活動外収益計 (4)	7,907,959	17,730,996	△ 9,823,037
	費用	0	0	0
	支払利息	5,586,450	5,587,480	△ 1,030
	その他のサービスマ活動外費用	0	0	0
	サービスマ活動外費用計 (5)	5,586,450	5,587,480	△ 1,030
	サービスマ活動外増減差額 (6) = (4) - (5)	2,321,509	12,143,516	△ 9,822,007
経常増減差額 (7) = (3) + (6)	△ 13,029,591	18,307,947	△ 31,337,538	
特別増減の部	収益	0	0	0
	施設整備等補助金収益	0	0	0
	施設整備等寄付金収益	0	0	0
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収益	0	0	0
	固定資産受贈額	0	0	0
	固定資産売却益	0	0	0
	その他の特別収益	0	852,930	△ 852,930
	特別収益計 (8)	0	852,930	△ 852,930
	費用	0	0	0
	基本金繰入額	0	0	0
資産評価損	0	0	0	
固定資産売却損・処分損	10	2	8	
国庫補助金等特別積立金取崩額 (除去等)	0	0	0	
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0	
災害損失	0	0	0	
その他の特別損失	0	344,930	△ 344,930	
特別費用計 (9)	10	344,932	△ 344,922	
特別増減差額 (10) = (8) - (9)	△ 10	507,998	△ 508,008	
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)	△ 13,029,601	18,815,945	△ 31,845,546	
前期繰越活動増減差額 (12)	101,421,506	82,605,561	18,815,945	
当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)	88,391,905	101,421,506	△ 13,029,601	
基本金取崩額 (14)	0	0	0	
その他の積立金取崩額 (15)	0	0	0	
その他の積立金積立額 (16)	0	0	0	
次期繰越活動増減差額 (17) = (13) + (14) + (15) - (16)	88,391,905	101,421,506	△ 13,029,601	
繰越活動増減差額の部				

法人単位 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

法人名：社会福祉法人高田真善会				資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減				
流動資産				流動負債							
現金預金	335,270,661	353,332,792	△ 18,062,131	短期運営資金借入金	43,712,284	49,221,177	△ 5,508,893				
有価証券	247,192,903	263,367,233	△ 16,174,330	事業未払金	0	0	0				
事業未収金	0	0	0	その他の未払金	20,579,993	21,559,617	△ 979,624				
未収金	87,616,982	89,504,783	△ 1,887,801	支払手形	0	0	0				
未収補助金	0	0	0	役員等短期借入金	0	0	0				
未収収益	0	0	0	1年以内返済予定設備資金借入金	0	0	0				
受取手形	0	0	0	1年以内返済予定長期運営資金借入金	0	0	0				
貯蔵品	0	0	0	1年以内返済予定役員等短期借入金	0	0	0				
立替金	0	0	0	1年以内返済予定長期運営資金借入金	0	0	0				
前払金	0	0	0	未払い費用	0	0	0				
前払費用	460,776	460,776	0	職員預り金	0	0	0				
1年以内返済予定長期貸付金	0	0	0	職員預り金	1,871,846	5,568,015	△ 3,696,169				
短期貸付金	0	0	0	前受金	0	0	0				
仮払金	0	0	0	前受収益	0	0	0				
その他の流動資産	0	0	0	仮受金	0	0	0				
徴収不能引当金	0	0	0	賞与引当金	21,260,445	22,093,545	△ 833,100				
				その他の流動負債	0	0	0				
固定資産				固定負債							
基本財産	597,632,662	601,313,328	△ 3,680,666	設備資金借入金	47,926,892	44,100,919	3,825,973				
土地	427,595,163	446,691,896	△ 19,096,733	長期運営資金借入金	0	0	0				
建物	196,588,016	196,588,016	0	リース債務	0	0	0				
定期預金	231,007,147	250,103,880	△ 19,096,733	役員等長期貸付金	0	0	0				
投資有価証券	0	0	0	退職給付引当金	47,926,892	44,100,919	3,825,973				
その他の固定資産	170,037,499	154,621,432	15,416,067	長期未払金	0	0	0				
土地	74,745,000	74,745,000	0	長期預り金	0	0	0				
建物	17,044,607	20,938,067	△ 3,893,460	その他の固定負債	0	0	0				
構築物	7,130,448	5,813,574	1,316,874								
機械及び装置	0	0	0	負債の部合計	91,639,176	93,322,096	△ 1,682,920				
車両運搬具	2,204,061	553,101	1,650,960								
器具及び備品	20,525,715	7,549,219	12,976,496	純資産の部							
建設仮勘定	0	0	0	基本金	680,558,876	680,558,876	0				
有形リース資産	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	72,313,366	79,343,642	△ 7,030,276				
権利	0	0	0	次期繰越活動収支差額	88,391,905	101,421,506	△ 13,029,601				
ソフトウェア	0	0	0	(当期繰越活動収支差額)	△ 13,029,601	18,815,945	△ 31,845,546				
無形リース資産	0	0	0								
投資有価証券	0	0	0								
長期貸付金	0	0	0								
退職給付引当資産	47,926,892	44,100,919	3,825,973								
長期預り金積立資産	0	0	0								
差入保証金	0	0	0								
長期前払費用	460,776	921,552	△ 460,776								
その他の固定資産	0	0	0								
資産の部合計	932,903,323	954,646,120	△ 21,742,797	純資産の部合計	841,264,147	861,324,024	△ 20,059,877				
				負債及び純資産の部合計	932,903,323	954,646,120	△ 21,742,797				

計算書類に対する注記 (法人全体用)

1. 継続事業の前提に関する注記
該当なし

2. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
・建物並びに器具及び備品 — 定額法
- (2) 引当金の計上基準
・退職給付引当金 — 当法人で採用している三重県社会福祉事業職員共済会の退職共済制度に基づき、当期末においての三重県社会福祉事業職員共済会への法人負担の掛金累計額を計上している。
・賞与引当金 — 法人と職員の雇用契約関係に基づき、翌期に支給する職員の賞与のうち、支給対象期間が当期に帰属する支給見込み額を引当金として計上する。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

独立行政法人福祉医療機構の実施する退職制度(平成18年3月31日以前の採用職員)又は独立行政法人勤労者退職金共済機構・中小企業共済事業本部の実施する退職制度(平成18年4月1日以降の採用職員)及び三重県社会福祉事業職員共済会の実施する退職共済制に基づき退職給付金による。

5. 法人が作成する計算書類等と拠点区分、サービスク区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の計算書類(第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式)
- (2) 事業区分別内訳表(第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式)
当法人では、社会福祉事業のため作成していない
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
当法人では、拠点区分が1つのため作成していない。
- (4) 公益事業、収益事業における拠点区分別内訳表(第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
当法人では、公益事業、収益事業を実施していないため作成していない。
- (5) 各拠点区分におけるサービスク区分の内容
特別養護老人ホーム報徳園拠点区分(社会福祉事業)
「特別養護老人ホーム報徳園(介護老人福祉施設)」
「特別養護老人ホーム報徳園(短期入所生活介護)」
「デイサービスセンター報徳園(認知症対応型通所介護)」
「在宅介護支援センター報徳園(居宅介護支援)」
「在宅介護支援センター報徳園(在宅介護支援)」
「本部」

6. 基本財産の増減の内容及び金額

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	196,588,016	0	0	196,588,016
建物	250,103,880	0	19,096,733	231,007,147
合 計	446,691,896	0	19,096,733	427,595,163

7. 会計基準第3章第4 (4) 及び (6) の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

該当なし

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物 (基本財産)	1,355,761,760	1,124,754,613	231,007,147
建物	106,111,721	89,067,114	17,044,607
構築物	13,973,023	6,842,575	7,130,448
車輛運搬具	4,755,556	2,204,061	2,551,495
器具及び備品	174,475,157	153,949,442	20,525,715
合計	1,655,077,217	1,376,817,805	278,259,412

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高

該当なし

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

- (1) 1年基準と支払資金との関係について
 2年を超える長期火災保険料の支払いについては「長期前払費用」にて計上しております。翌期の保険料については流動資産の「前払費用」に計上してあります。資金収支計算書の支払資金と貸借対照表との整合性が確認できません。
 1年基準により固定資産の長期前払費用から振り替えられた流動資産の前払費
 についての金額460,776円について差異があります。

監査報告書

令和2年5月28日

社会福祉法人高田真善会

理事長 常磐井 献磨 殿

監事

永合 遠也

監事

松垣 武年

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその付属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純財産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以 上

社会福祉法人高田真善会 報徳園 事業概要

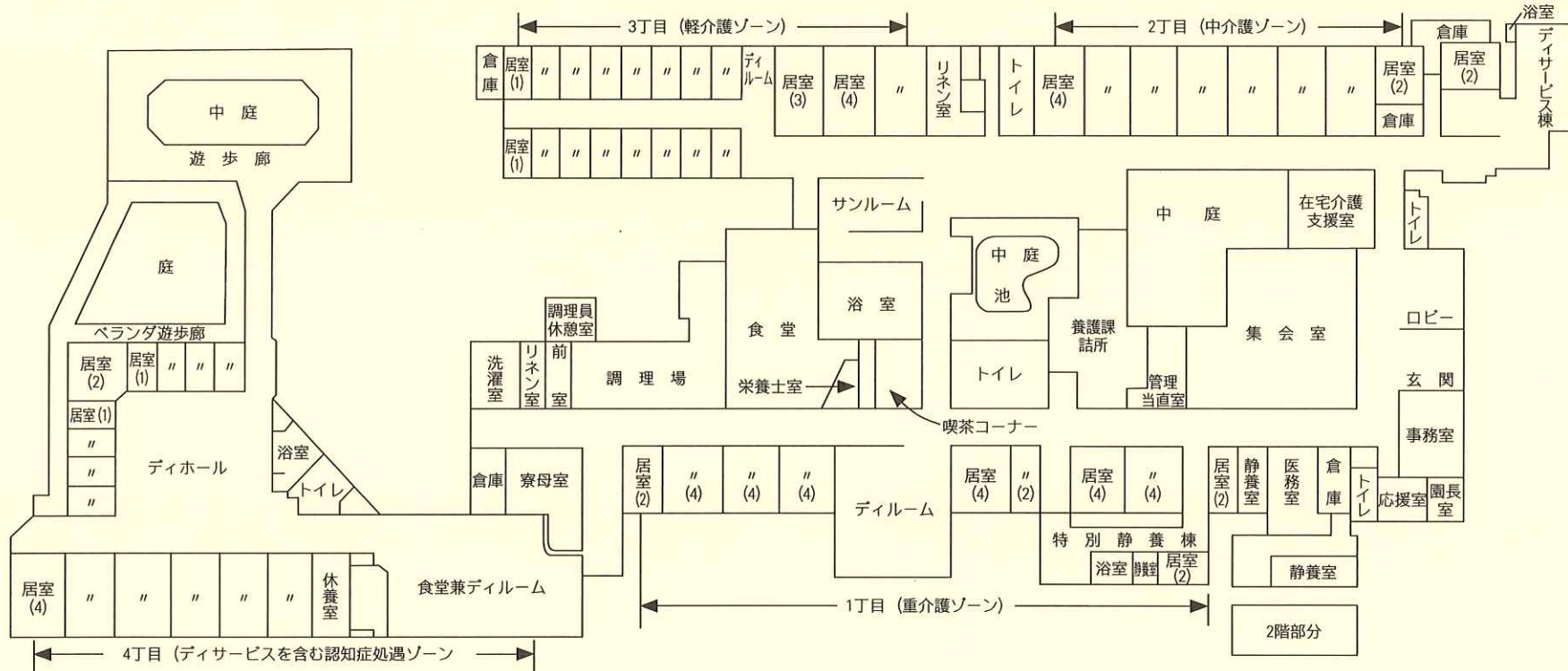
令和2年4月1日現在

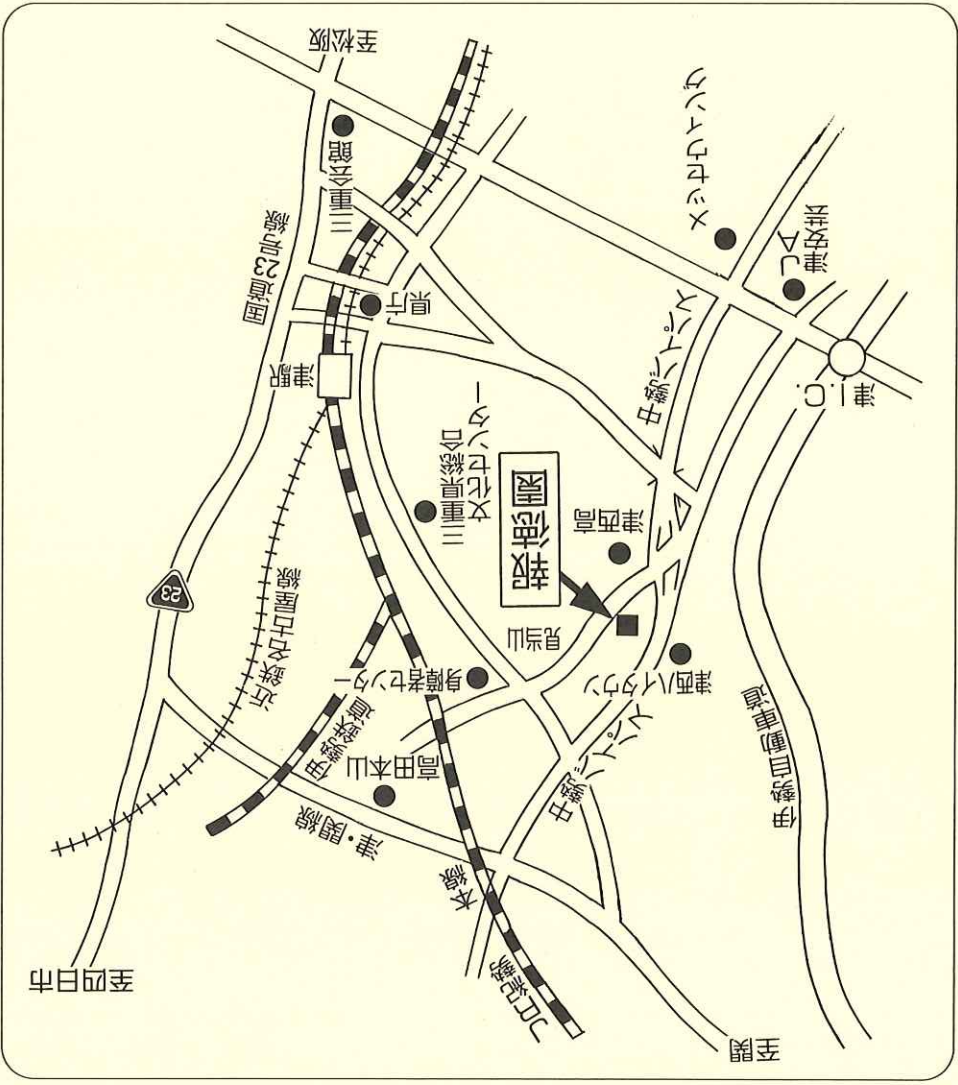
事業所名	特別養護老人ホーム報徳園		デイサービスセンター報徳園	在宅介護支援センター報徳園	
	介護老人福祉施設	短期入所生活介護	通所介護 (認知症対応型)	居宅介護支援	在宅介護支援
介護保険事業所番号	2470500485	2470500634	2470500634	2470500253	—
介護保険指定年月日 (当初指定年月日)	平成32年4月1日 (平成12年4月1日)	平成32年4月1日 (平成12年1月31日)	平成32年4月1日 (平成12年1月31日)	平成32年4月1日 (平成11年8月31日)	—
開設年月日	昭和56年4月1日	平成2年5月1日	平成4年4月1日	平成11年10月1日	平成5年5月1日
利用定員	110人	15人	24人(月～金曜日) 12人(土・日曜日)	—	—
サービス提供日 及び提供時間	年中無休	年中無休	年中無休 9:00～16:30	年中無休 8:00～17:30	年中無休

施設概要

令和2年4月1日現在

敷地面積 17,789.44m²
 本館建物 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 4,909.74m² 2階 63.75m²
 入居者居室 個室…24室 2人室…7室 3人室…1室 4人室…21室





社会福祉法人 高田真善会

特別養護老人ホーム
在宅介護支援センター
テイサービスセンター

所在地 〒514-0065

三重県津市河辺町1317-1

TEL 059-228-1951

FAX 059-228-1952

E-mail houtokuen@zlv.ne.jp

URL : <http://www.houtokuen.jp/>

報徳園